



(左)会場では、市民団体によるうどんなどが配られ、冷えた体を暖めた。



(上)行進では、きりっとした表情の団員や消防車両が列をなして進んだ。

1/10

一致団結 まちの防災

晴海臨海公園

大勢の市民が見守る中、消防出初式が行われ、消防署から47人、消防団から209人、また、今年は市内企業の自衛消防隊も参加した。行進と式典の後、消防団による大竹火消太鼓演奏、一斉放水などが行われ、訪れた観衆は夢中になって見入っていた。

(右)受け取ったたすきを手に、勢いよく走り出す玖波中学校の選手。



(左)ゴールに向かってラストスパートをする小方中学校の選手。



(上)スタートの号砲が鳴ると、選手たちは一斉に寒風の中を飛び出していった。

仲間とつなぐ、1本のたすき

総合市民会館(スタート・ゴール)

1/11

64回目となる大竹駅伝競走大会が行われ、104チームが参加し、大竹のまちを駆け抜けた。選手たちは沿道の声援に後押しされながら力を振り絞り、たすきをつなぎゴールを目指した。

中学男子の部で2位に輝いた大竹中学校。キャプテンの川嶋昂さんは「昨年の9位という悔しい記録をバネにして頑張りました。沿道の応援がとても力になりました」と達成感に満ちた笑顔で、いきいきと話してくれました。



(上)中学男子の部で2位となった大竹中学校の選手。4区では稲野俊介さん、6区では仙波尚起さんが区間賞に輝いた。

新成人214人を祝う

アゼリアホール

1/12

成人のつどいが行われ、新成人214人が参加し、大人としての第一歩を踏み出した。当日は、新成人が式典と交流会の企画・進行を行い、ゲストとして、広島市内のライブハウスを中心に活躍している音打吹「E-JAN」の演奏で、会場を盛り上げた。

(右)はたちの誓いを読み上げる、舞田隆弥さんと福田吏紗さん。

(下)会場は華やかな衣装やスーツを身にまとった新成人でにぎわった。

